

品質表示	
くなべ)	
■材料の種類/本体	アルミニウム合金
はり底	ステンレス鋼(クロム18%) (底の厚さ2.7mm(はり底を含む))
取っ手/つまみ	フェノール樹脂
■表面加工/内面	ふっ素樹脂塗膜加工
外面	ミラー仕上げ(底面を除く)
くふた)	
■品名	強化ガラス製器具
強化の種類	全面物理強化

品番	寸法	満水容量
LB-117R	30cm	
LB-119R	18cm	1.8ℓ
LB-120R	22cm	

MADE IN CHINA

ガラス蓋の使用上の注意

- 蓋本来の用途以外には使用しないでください。
- 落し蓋としては使用しないでください。
- 本品は耐熱ガラスではありません。
- ガラス蓋は落としたり、ぶつける等の衝撃を与えないでください。割れる原因になります。
- ガラス蓋が熱くなっている時、濡れたふきんでふれたり、水をかける等の急激な熱衝撃を加えると破損の原因になります。
- ガラス蓋を鍋からずらして使用しないでください。蓋が部分的に加熱し破損の原因になります。
- ガラス蓋にキズがついた場合は使用しないでください。
- 電子レンジやオーブンには使用しないでください。
- 傷が原因でガラスが破損することがあります。スチールたわし、みがき粉等の使用は避けてください。
- ガラス蓋が破損した場合、破片が細片となって激しく飛散する特性があります。
- ツマミのネジをしめすぎないでください。
- ガラス蓋にひびやキズがついた場合は使用を中止してください。

ガラス蓋：全面物理強化ガラス

全面物理強化ガラスとはガラスに加工（加熱・急冷）を加えることで表面付近の分子が通常の板ガラスよりも密になり、耐熱強度・耐衝撃強度が高くなったガラスです。また割れた場合、通常ガラスですと破片でケガをする恐れがありますが、強化ガラスは破片が粉状になりケガをしにくいという特徴があります。身の回りではビルのガラスドア・自動車・エスカレーター・家具等に幅広く使用されています。ごくまれに全面物理強化ガラスは表面が強化されているため、細かいキズがつくなどしてバランスがくずれると外部からの衝撃が加わってないにもかかわらず、瞬間的に音と共に破裂する恐れがありますので使用上の注意を守ってください。

LA BETTOLA 落合 務

共通取扱説明書

この商品は家庭で調理するために使うものです。
ご使用の際には取扱説明書をよく読んでからご使用ください。
不適切な取扱いは事故につながります。
この取扱説明書は必ず保管してください。

この商品は下記の加熱器具でご使用頂けます。



100V・200VのIH調理器にご使用できます。

商品、取扱説明書の不明な点についてのお問い合わせ先

Tamahashi co., Ltd.
輸入販売元 株式会社 タマハシ
〒959-1241 新潟県燕市小高4549-6
TEL 0256-63-9545 FAX 0256-66-2252

使用前の注意

- ご使用前には必ず、各部に異常がないことを確認してください。取っ手のガタつきや変形などが生じている場合には使用しないでください。
- ネジがゆるんでいる場合は、よく締めてから使用してください。その際、締めてもゆるみが直らない場合は使用を中止してください。
- 製造上、内面は細かい汚れが付着していることがあります。最初に使用する時は食器用中性洗剤を付けたスポンジなどで十分に洗います。次に乾いた布などで水分を拭き取ってから使用してください。
- ※製品のシールを剥がす場合はドライヤーなどで温めると剥がれやすくなります。(警告ラベルはそのままにしておいてください。)
- お手持ちの加熱機器の取扱説明書をよく読んでいただき、正しくお使いください。
- 品質には万全を期しておりますが万一、不具合やご不明な点がありましたらご使用にならずに **株式会社タマハシ** お問い合わせ先までご連絡ください。

使用上の注意

- 調理以外の用途には使用しないでください。
- 天ぷら料理等には使用しないでください。油温が200℃以上に達すると火災の危険があります。
- 急激な衝撃を与えたり空焚きは絶対にしないでください。空焚きは火災や本体の変形、取っ手の破損や火傷や加熱機器の破損原因にもなります。万一、空焚きをしてしまった場合は水などで急に冷やさず、自然に冷やしてください。
- 取っ手のガタつきなどの破損に対し、改造や応急処置をして使用することは危険です。やめてください。
- フチまで内容物を満たした状態で使用しないでください。
- 本品は加熱機器の中央部にのせて、安定させた状態で使用してください。
- 効率よく加熱するために底面の水滴は拭き取ってからご使用ください。
- 吹きこぼれ、煮こぼれしないように使用してください。火が消えてガスが漏れたり加熱機器などが故障する原因となります。
- ストーブや七輪など炭火の上では危険です。使用しないでください。
- 電子レンジ・オーブン・食洗機では使用しないでください。
- 加熱中や加熱直後は本体や取っ手が熱くなっていますので火傷に十分注意してください。つかむ際には鍋つかみやふきんを用いて、すべらないようにしっかりと握ってください。また、乳幼児は遠ざけ、絶対に触らせないようにしてください。
- 調理後など本体が熱いうちに紙などの燃えやすい物の上には置かないでください。
- 内容物を他の容器に移す際には外面への伝いもれや飛び散りに注意してください。
- アクの強い食材(ごぼうや山菜など)を調理すると調理の汁などが黒く変色することがあります。アク抜きを十分に行ってから調理してください。

より長くお使いいただくために

- ふっ素樹脂塗膜を長持ちさせるためにも、できるだけ中火以下の火力でご使用ください。
- 金属製のへらなどの調理器具を使用しないでください。ふっ素樹脂塗膜を傷つけます。木や竹、プラスチック製などの専用調理器具をご使用ください。
- 焼き物などの調理に際しては、ご使用ごとに薄く油を引くと、こびりつきにくさが長持ちします。

【ガスコンロで使用するときは】

- 極少量の水を入れて沸騰させないでください。水が入っていない部分が高温になります。
- 鍋はコンロの中央部に乗せ、安定させて使用してください。片寄った状態で置くとハンドルが加熱され破損することがあります。
- 炎が底面からはみださないように火力を調節してください。また隣接するコンロの炎が取っ手部分にあたらないように向きを調整してください。炎が大きいと取っ手が加熱されて危険です。樹脂部が燃焼して異臭がしたり、脱落の危険もあります。取っ手がこげてガタつきなどが生じた場合は使用を中止してください。



【電磁調理器(IHクッキングヒーター)で使用するときは】

- ご使用前に、お手持ちの電磁調理器の取扱説明書をよく読んでいただき、本品が使用できるか確認してください。
- 鍋は電磁調理器の中央部に置いてください。
- 普段ご使用の際、火力は必ず中(中火)以下で使用してください。最大火力で加熱しますと、変形などの原因になり、火傷や火災などの事故につながるおそれがあります。また、加熱中にブーンやジーといった音が生じることがありますが、これは本体が共鳴しているためで、製品の異常ではありません。
- ご使用により電磁調理器のトッププレートが汚れる場合があります。これは、トッププレートに付着している油膜や汚れが熱により焼きついたものです。

お手入れについて

- 使用後は食器用中性洗剤を付けてスポンジなどで洗い、水気を拭き取ってよく乾燥させてください。お手入れが不十分だと白い粉状のものが付着してきますが、水道水中の微量成分(マグネシウム・カルシウムなど)が固まったもので性能および衛生上の問題はありません。
- 塩分や酸などを含んだ汚れを付着したままや濡れたまま放置したり湿気の多い場所での保管はしないでください。塗膜の損傷や腐食の発生原因となります。
- ふっ素樹脂の塗膜は、使用を重ねるうちに徐々に劣化してきます。永久に付着しているものではありません。使用回数や取り扱いによっては劣化が加速され、こげつきやすくなってしまいます場合があります。
- こげつきなどを落とす場合は金属製の固いものを使用しないでください。熱湯に浸してこげつきを柔らかくしてから取り除いてください。
- 調理後は本体内に内容物を保存しないでください。塗膜の損傷や腐食の発生原因となりますので、他の容器に移してください。
- 表面を傷つけますので洗う際はスチールたわし・磨き粉は使用しないでください。また、酸性およびアルカリ性のものの使用は避けてください。
- はり底が変色してきますがこれはステンレスの表面に汚れが焼きついた場合や、加熱によりできた酸化被膜によるものです。有害な物質が生成されたものではありません。
- 食品衛生法に適合した塗料を使用しておりますので、人体に影響はございません。
- つけ置き洗いはしないでください。塗膜や取っ手の劣化の原因になります。
- 食器洗浄機は使用しないでください。
- 手の届きにくい高所には保管しないでください。取り出し時に落下する危険があります。
- 洗浄後、取っ手内に溜まった水は水抜き穴から抜いてください。